

Step 1

「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」それぞれの筆者の意見とその根拠となる体験をまとめた図を完成させよう。

黄金の扇風機

主張

美しさを見いだすのは、それを見る我々である。心をしなやかに持つことによって、新しい美しさを見いだすことができる。

美に対する見方

何に美しさを感じるかは文化や地域によってさまざまで、その感覚は時代や何かのきっかけで変わるものである。

体験

エジプトでは日本と違って金づくしとヴェルサイユ宮殿風のロココ趣味が美の条件だったが、最近ではシンプルなデザインのものが増えてきた。

サハラ砂漠の茶会

主張

美は、現代のさまざまな問題における人々の垣根を取り払ってくれるものである。

美に対する見方

国境や民族、宗教や思想を超えて、人間は同じように美しいと感じる感覚を持っている。

体験

サハラ砂漠で遊牧民にごちそうになったとき、口に合わないだろうという覚悟とは裏腹に、どれも驚くほどおいしかった。

Step 2

あなたはどちらの意見に共感しますか。その理由を自分の体験を踏まえて書こう。

私は「サハラ砂漠の茶会」の意見に共感します。

以前、ある美術館に行ったときのことです。入口を入ったその瞬間、モネの「睡蓮」の巨大な絵が目の前に現れたとき、私は感動のあまり、しばらくその場から動けなくなりました。外国の美の基準で描かれた絵画に、私は感動したのです。また、その逆に、日本の浮世絵が海外でももてはやされているという話も聞いたことがあります。

このように、人々はみな同じように美しいと感じる感覚を持っているので、「サハラ砂漠の茶会」の意見に共感します。